

第16回

子育て支援シンポジウム

脱・ワンオペ育児

～孤立しない・させないために～

子育てに苦勞されている親御さんの姿に、医師・歯科医師としてできることはないだろうか、との思いを端緒に「子育て支援」をテーマにした企画を毎年開催してきました。

今回は、「脱・ワンオペ育児～孤立しない・させないために～」をメインテーマにしました。子どもたちを取り巻く現状やサポート等について、参加者と一緒に考えたいと思います。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時 **2019年2月3日(日)**

午前10時～午後12時30分
※開場は9時30分です。

会場 **東京エレクトロンホール宮城**
(宮城県民会館 601大会議室)
(仙台市青葉区国分町3-3-7 TEL 022-225-8641)

参加費
無料

この催しは参加自由です。専門職の方や子育てでお悩みの親御さん等ぜひご参加下さい。
定員150名になり次第締め切らせていただきます。

シンポジスト

「子育て夫婦のチーム力」

宮城大学看護学群教授

塩野 悦子氏

子育ては航海に似ています。晴天の日でも嵐の夜でも、船の乗組員である夫婦が力を合わせ乗り切らねばなりません。夫婦のチーム力は弱まったり高まったりを繰り返しながら、夫婦は親として互いに成長していくのでしょうか。ワンオペ育児とは、母親だけ乗船して漂流している状態をいうのかもしれませんが。シンポジウムでは、子育て夫婦のチーム力の高め方について一緒に考えてみたいと思います。

「母親が子どもと育つ世の中に」

一般社団法人産後ドゥーラ協会
認定産後ドゥーラ

菅原 奈央氏

出産をゴールと捉えて、産後の暮らしにギャップを感じる人は少なくありません。ほとんどの親がいい親になりたがっています。しかし、育児には正解がありません。ゴールの見えない不安な心に寄り添い、妻から母へ、夫から父になる手助けがいつの時代も必要です。
産後ドゥーラは母親になったばかりの女性やご家族をサポートする存在。必要としている人には必要な支援を、頼る方法がわからない人へは頼り方を、親になるための移行期を伴走します。

「子育てを孤立させない取り組み～開業助産師としての立場から～」

宮城県助産師会保健指導部会長・
母乳育児相談室まんなはうす代表

武者 文子氏

「赤ちゃんが泣くこと」は当たり前のことですが、最近は「赤ちゃんの泣き」対策のため産後の入院が個室化、また大部屋でもカーテンを引いて過ごすため、他のママ達がどのように赤ちゃんに関わっているのかを「自然に」観察・交流する機会が減っています。助産師や看護師から教わったことを頼りに育児が始まり、わからないことはスマホで調べるといのが現状です。ママ達を孤立させない取り組みを開業助産師の立場から紹介したいと思います。

◎申込み・問い合わせ／宮城県保険医協会

仙台市青葉区本町2-1-29 仙台北町ホンマビル4階
TEL 022-265-1667 / FAX 022-265-0576

主催：宮城県保険医協会

後援：宮城県、宮城県教育委員会、仙台市、仙台市教育委員会、(公社)宮城県医師会、(一社)宮城県歯科医師会、(一社)仙台市医師会、(一社)仙台歯科医師会、仙台小児科医会、(公社)宮城県看護協会、(一社)宮城県助産師会、宮城県ユニセフ協会、(公財)仙台YMCA、(N)M(K)仙台放送局、三ツギテレビ、仙台放送、KHB東日本放送、TBC東北放送、河北新報社、読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、エフエム仙台

【参加申込み書】 FAX 022-265-0576 までお送り下さい。

()名参加します。

お名前

職種

連絡先